



VOICE

千代田区 自由民主党議員団活動レポート

発行：千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)

あなたの声をお聞かせください!

▶ウェブサイト <http://jimin-chiyoda.tokyo>

▶お電話 03-5211-4320 ▶ファクス 03-5275-6882



フラッグツアー、最終ゴール「千代田区」へ
リオから引き継がれたオリンピック・パラリンピックの旗のもと、その素晴らしさやその価値を伝えるとともに、東京2020大会に向けた気運醸成を図るためオリンピック・パラリンピックフラッグツアーが開催されました。東京では昨年10月8日から始まり、東京都62区市町村を廻り、最終自治体が千代田区でした。(6月16日撮影)



自由民主党議員団 幹事長 嶋崎秀彦

- ▶ 幹事長 嶋崎秀彦 **新幹事団**
- ▶ 副幹事長 桜井ただし
- ▶ 副幹事長 永田壮一
- ▶ 政調会長 戸張孝次郎
- ▶ 幹事 池田ともり

千代田区政の 重点項目」を再確認

課題を一步一步着実に解決するため
各委員会活動を活発に行なっていく予定です。

幹事長就任のご挨拶

区民の皆さまには、自由民主党議員団に対しご指導、ご支援を賜り感謝申し上げます。この度、議員団同志の皆さまのご推挙により、三度目の幹事長に就任することになりました。重ねて議会運営委員長も拝命し、身の引き締まる思いでありますし重責を痛感しております。現在区政において重点項目を再確認をし、特に附帯決議や特別委員会設置などにより私たち議員団は、常に区民目線にたち「区政は区民のもの」という基本を忘れることなく課題解決に向け円滑な運営をまいります。区議会の任期もあと二年。引き続き区民福祉向上に邁進してまいりますので、これまで以上にご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。これから暑い季節になりますので、お体ご自愛下さい。

委員会活動レポート



▲九段坂周辺の整備を検討

世界をもてなすための環境整備を!



▲議場の大型スクリーンの活用

わかりやすい議会をめざし調査・研究!



▲(仮称)二番町高齢者施設のイメージ

区民がずっと安心して暮らせる施設整備を!



▲四番町複合施設の整備

環境負荷の少ないまちづくり!

区長から提案される議案や区民の皆さまからの請願・陳情など、区議会が審議・調査する案件は多岐にわたっています。このため、分野ごとに3つの常任委員会を設置し、それぞれの委員会で担当事項を専門的に調査します。

特別委員会は、特定の問題について調査・検討する必要がある場合に、議会の議決によって設置する委員会で、設置期間は、調査が終了するまでと決められています。今回3つの委員会で調査が終了し、新たに2つの委員会が設置されました。

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 **継続**

平成26年3月に設置され、皇居周辺地区の環境整備、バリアフリー化の徹底、自転車専用道の整備や歩道橋の撤去などの課題を整理してきました。

都市整備、ユニバーサルデザイン、商工観光、環境等の多様な分野にわたる課題も見込まれ、大会開催までの限られた時間内で、区民の機運を醸成しつつ、スピード感を持って確実に準備していくには、より一層、行政と議会が活発に議論し、具体的な成果を出すため、引き続き、調査・検討を行います。

直近の活動

- 3年後の開催に向けた気運醸成イベントの企画
- 柔道・空手会場となる武道館(北の丸公園)周辺地域の整備

議会のあり方に関する調査特別委員会 **継続**

平成27年5月に設置され、これまでに区民の視点に立った開かれた議会の実現のため、「議場の大型スクリーンの活用」などを実施。他の自治体議会の事例調査と学識経験者を招いた勉強会を開催。また、自治法の規定に基づき「基本構想の策定、変更または廃止」を議決事件として追加する等を実施してきました。

今後は、先進的事例等を参考にしながら、区民代表である議員一人ひとりが、区民にわかりやすい議会のあり方や、議会をより一層改革していくために、引き続き調査・検討を行います。

直近の活動

- 他の自治体議会の現況を調査
- 学識経験者を講師に招いた勉強会の開催

福祉施設整備特別委員会 **新設**

千代田区は、高齢者施設や障害者施設が、まだまだ不足しているのが現状で、在宅が困難となった後でも、住み続けることができるように多様な高齢者・障害者施設の整備が必要です。今年度から国有地を活用した「(仮称)二番町高齢者施設」整備が始まる予定ですが、他地区の計画とのバランスなど、不明瞭な要素も多い状態です。

また、休止中の箱根千代田荘なども区民福祉のために、早急に活用策を示す必要があります。

具体的な施設整備については、区の特長から用地取得も困難であることから、その進捗も含め全庁的な取り組みが必要であり、所管事項が多岐にわたるため、特別委員会を設置しました。

都市基盤整備特別委員会 **新設**

地域特性を生かした魅力あるまちの創出に向け、区民や事業者等とともに、地域整備に取り組んでいます。

しかし、所管事項が多岐にわたり、単独の常任委員会では十分な調査が困難です。「外神田一丁目計画」ではバッティングする大規模計画の存在が発覚したり、「(仮称)区立麴町仮住宅の整備及び四番町複合施設」は、構想・計画自体が不明確な状態にあります。

地域の方々の意向を尊重しつつ、住民が住み続けられ、かつ、「都市計画マスタープラン」に基づく、環境負荷の少ないまちづくりに向けて、事象の一つひとつを、詳細に検討するため、特別委員会を設置しました。



